

## 松井克浩の Twitter 2023 年 2 月(抜粋)

今月の「つぶやき」を抜粋で集めました。

【1 月 30 日】

[公益法人への立入検査で指摘することの多い項目ベスト5](#) | 大阪の企業会計の主治医  
立入検査への対応は、『至らぬところを指導してもらえる。』と思ってコミュニケーションを図ることが得策です。



【1 月 31 日】

[今月の Twitter 2023 年 1 月\(抜粋\)](#)

【2 月 1 日】

人手不足で倒産。コロナ後の経済再開が進むなか、労働力を確保できずに経営に行き詰まる企業が増えています。建設業と運輸業が突出。つまりは賃上げができないということです。物価高が引き続き重荷になる上、ゼロゼロ融資の元金返済が本格化。企業を取り巻く環境はさらに厳しく。

【2 月 3 日】

[子ども主体の学びを模索するイエナプラン教育](#)

【2 月 4 日】

「根気よくやり遂げる人が、人から祝福される」

【2 月 5 日】

「世の中が進歩するのは、社会の常識に挑戦する非常識な人がいるからだ。」

【2 月 6 日】

[NPO 法人会計基準が簡単にわかるための4つのこと](#) | 大阪の企業会計の主治医  
NPO 法人会計基準は、会計報告作成者の視点より、会計報告利用者の視点を重視して規定されています。



【2月9日】

地方議員のなり手不足。全国の地方議会議長へのアンケート結果。併せてなり手を増やすための有効な対策も聞きました。「議員報酬の引き上げ」77%、「議員の厚生年金制度」55%、「兼業規制の緩和」47%(上位3位まで)。

待遇を上げるのではなく一般市民に近づけることをもっと考えるべきでは。

【2月10日】

[「粒あん」VS「こしあん」](#)

【2月11日】

「人生に遅すぎるということはない。」

【2月12日】

「幸せな社会とはみんながそれぞれ他人に気兼ねなく、自分の好きなことに打ち込める世界です。」

【2月13日】

先週の社会福祉法人への指導監査。決算に関する計算根拠資料は確実に保存してください。例えば賞与引当金の繰入額を計算する場合に、メモ書きで済ませて根拠資料を残しておかないと往々にして間違えます。

【2月14日】

[6号財産との関連性から見た公益法人の特定資産の本質とは](#) | 大阪の企業会計の主治医  
基本財産の運用益を流動資産の預金で受け入れ。そこに6号  
財産が混じってしまったらどうなるのか？



【2月15日】

児童相談所の配置基準。児相は虐待疑いに関する通報や相談を受け付けるほか、必要な場合には一時保護もする機関です。

国は児相職員を増員したものの、指導役の配置基準を4割が未達。指導役の確保が追いつかない状況で人材育成に疑念が生じています。経験者の再雇用や他機関との連携等対策を。

【2月16日】

街から消える本屋。全国の書店は2022年に1.2万店ありますが、10年間で約3割減少しました。人口減、活字離れ、インターネット普及などが重なったためです。

学校の図書室や公立図書館を運営する地方自治体が地元の書店から仕入れれば大きな助けに。工夫を重ねなんとか生き残って。

【2月17日】

FAQ【所得税】

『[購入した業務用不動産に係る固定資産税相当額の損金算入](#)』

【2月18日】

「一巻の書の人は強し」

【2月19日】

「私たちが変化に対して保守的になり、変わることをためらうのは、過去に手に入れたものを手放すのが怖いからである。」

【2月21日】

[東京と大阪でこんなに違う銭湯](#)

【2月22日】

ある保育園園長先生の言葉です。

「保育に臨む人が『子どもが好き』という場合、それは『どの子どもも好き』という言葉にそのまま置き換えられなければなりません。つまり、『嫌いな子どもがいない』状態のことです。」

【2月23日】

[インボイス制度に対応するための注意事項](#) | 大阪の企業会計の主治医

令和5年(2023年)10月1日から消費税の仕入税額控除の方式として導入されるインボイス方式。対応するための注意事項とは。



【2月24日】

FAQ【所得税】

『[新型コロナウイルス関連補助金への課税](#)』

【2月25日】

「二十年後、三十年後、自分はどんな老人になっているかを想像してみるのも悪くない」

【2月26日】

「直感に基づいて動いていると、何らかの出会いを得られることが多い。」

【2月27日】

[過去の赤字の補てん、他会計振替の可否は、公益法人会計における課題](#) | 大阪の企業会計の主治医

赤字と黒字の時間的前後関係は、収支相償を考える際の永遠のテーマです。

